

11月12日～25日は女性に対する暴力をなくす運動期間です

大牟田市でも国の運動期間に合わせて、市役所玄関ロビーと中央地区公民館1階ロビーに「パープルリボンツリー」を設置し、女性に対する暴力防止の願いを込めて、多くの市民の皆さんにリボンをかけていただきました。



新型コロナウイルス問題により DV被害の深刻化が懸念されています

新型コロナウイルス感染拡大により、生活不安・ストレスなどにより、配偶者等からの暴力（DV）の増加や深刻化が心配されています。

DVなどの暴力は、重大な人権侵害であり、いかなる状況にあっても、決して許されるものではありません。パートナーとの間で「暴力を振るわれている」「つらい」と感じたら、まず下記の相談機関に電話してください。

また、緊急の場合は、ためらわずに110番通報をしてください。

相談窓口

大牟田市男女共同参画センター	0944-43-1012	月～金曜日 8:30～17:15 ※祝日・年末年始を除く
大牟田警察署 (生活安全課)	0944-43-0110	24時間受付
福岡県あすばる相談 ホットライン	092-584-1266	月～日曜日 9:00～17:00 金曜日(祝日除く)のみ 18:00～20:30も可 ※8月13日～15日・年末年始を除く
福岡県配偶者からの 暴力相談電話	092-663-8724	月～金曜日 17:00～24:00 土・日・祝 9:00～24:00 ※年末年始を除く
男性DV被害者のための 相談ホットライン	092-571-1462	水・木曜日 17:00～20:00 金曜日 12:00～16:00 ※祝日・年末年始を除く
LGBTの方のDV被害者 相談ホットライン	080-2701-5461	第2火曜日 12:00～16:00 第4火曜日 17:00～20:00 ※祝日・年末年始を除く
福岡県犯罪被害者 総合サポートセンター(筑後地域)	0942-39-4416	月～金曜日 9:00～16:00 ※祝日・年末年始を除く



大牟田市では、「第3次おおむた男女共同参画プラン」(平成30年3月策定)のもと、「男女が生き生きと暮らすまちの実現」を目指して、この中で掲げた様々な取り組みを実施しています。

【発行】

大牟田市男女共同参画センター
〒836-0862 大牟田市原山町13-3
(中央地区公民館内)
TEL 0944-41-2611
FAX 0944-41-2869

大牟田市男女共同参画センターだより

Rainbow

No.43

2021年3月発行
大牟田市男女共同参画センター

だんじょきょうどうさんかく

「男女共同参画」ってなんだろう？

みなさんは、「男女共同参画」という言葉を知っていますか？
言葉の固いイメージで「難しそうだ」「自分には関係ない」と、敬遠していませんか？
いえいえ、「男女共同参画」はみなさんの身近な問題です。

「男女共同参画社会」とは、「性別にかかわらず、個性と能力を發揮し、責任を分かちあいながらともに歩む」そんな社会の実現をめざすことです。
だから「自分は男女共同参画とは無関係」という人は存在しません。
あなたが、あなたらしく生きるためのことです。



「参加」と「参画」

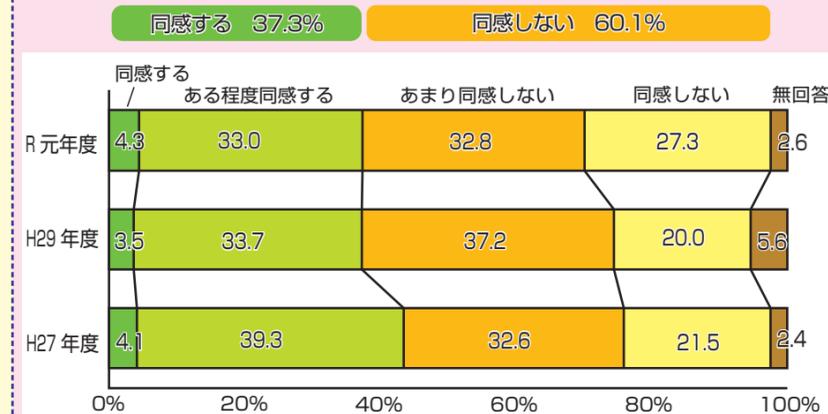
参加とは、仲間に加わること。

参画とは、自分から進んで意見を言ったり、みんなの意見を聞いたりして、大事なことをしたり、決めたりすることです。つまり計画や立案段階から携わることの意味します。

数字で見よう！「男女共同参画」の市民意識

市民に
きました

「男は仕事、女は家庭」という考え方について、どう思いますか？



資料：大牟田市まちづくり市民アンケート

令和元年度の調査結果では、「男は仕事、女は家庭」という考え方について、「同感しない」「あまり同感しない」を合わせると、60.1%となっており、平成27年度より6.0ポイント増加しています。

しかし、37.3%が「同感する」「ある程度同感する」となっており、今後とも意識啓発を進めていく必要があります。

誰もが持ってる!?

「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」

アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）とは、自分自身が気づいていない偏った考え方や思い込みのことです。

私たちの脳は、これまでに経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、あらゆるものを「自分なりに解釈する」という機能を持っています。

例えば、日常でこんなことはありませんか？

- つい、「これまでのやり方」や「前例」にとらわれてしまう。
- 何をしても相手との「上下関係」を意識してしまう。
- 来客の受付やお茶出しを男性が行うのは違和感がある。
- 「男のくせに」「女のくせに」と思ってしまうことがある。
- 育休を長期間取得する男性社員は、昇格欲が低いと思ってしまう。
- DV と聞くと被害者は女性だと思う。



このようにアンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰にでもあるものです。ただ、あることそのものが悪いわけではありません。問題なのは気づかないうちに「決めつけ」たり「押し付け」たりすることです。

ここがポイント!

社会全体において、アンコンシャス・バイアスや性別による固定的役割分担意識が存在することが、女性の活躍の妨げになっていたり、男女共同参画社会の実現を阻んでいると考えられます。誰もが性別にかかわらず、生き生きと暮らせる社会を目指して、日常生活や社会のなかで、一人ひとりができることを考えてみませんか。

より客観的で公平な判断ができるよう、自分の中にある思い込みについて見つめ直し、正しい知識を身につけ、より多くの視点、幅広い視野を持つよう心がけましょう。



知っていますか？

みんなのSDGs

SDGs（持続可能な開発目標）を知っていますか？SDGsとは、2015年9月「国連持続可能な開発サミット」において採択された「我々の世界を変革する・持続可能な開発のための2030アジェンダ」で掲げられた、2030年までの国際社会全体の課題です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



男女共同参画とSDGs

SDGs（持続可能な開発目標）の5番は「ジェンダー平等を実現しよう」です。ジェンダーの平等は基本的人権のひとつであり、ジェンダー平等を達成し、すべての女性の能力強化が謳われています。ジェンダーの平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を図ることは、健全な社会のあらゆる側面に欠かせません。

ジェンダーの平等を実現するという点では大きく遅れている日本、政府や関係機関が動くだけでは完全に改善するとはいえません。私たち一人ひとりが意識して生活し、身の回りでもできることをしなければ改善はされません。

例えば、身近な自分の家でも、ジェンダーを考えることができます。ジェンダーの平等とは、お父さんとお母さんが仕事も家事も子育ても、全てにおいて協力し合い、同じように分担することです。あなたの家では、家族それぞれがどんな家事をどのくらい分担していますか？書き出して比べてみると、我が家のジェンダーバランスが見えてくるはず。家事の量だけでなく、その大変さや違いについても家族や友人、パートナー同士で考えてみましょう。

